

通信 「ちえふる」 1月号

「干支（えと）」ってなあに ～「干支」と「十二支」は違う？～

新年、明けましておめでとうございます。今年も、よろしく願いいたします。

さて、年賀状を目にする時節、「今年は巳年かあ。」と思った方も多いのではないのでしょうか。

そこで、新年は「干支」についてです。

「干支」と聞くと、「子（ね）、丑（うし）、寅（とら）・・・」と、動物を思い浮かべる方が少なくないと思います。が、実はこれらの動物は「干支」ではなく「十二支」で（ん・・・？）、「干支」とは、「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を省略した（組み合わせた）言葉なのだそうです。

十干とは

古来中国で生まれた考え方で、「甲（こう）、乙（おつ）、丙（へい）、丁（てい）・・・」などの10個の要素から成り、日本では「甲（きのえ）、乙（きのと）、丙（ひのえ）、丁（ひのと）・・・」と読むのが一般的です。

十二支とは

ご存じのように12種類の動物で、その漢字は一般的な漢字とは異なります。古代中国で、年を数えるために「子（ね）」から「亥（い）」までの12の文字を割り当てたことが、この起源と言われています。

干支は60通り

そうすると、「干支」は、十干の10の要素（漢字）と十二支の12の要素（漢字）を組み合わせ、年の呼び方が決まります。組み合わせは60通りになります。（10と12の最小公倍数ですね。）

ということで、2025年の「干支」は、「乙巳（きのとみ）」です。

柔軟性と適応力を象徴する「乙」と、再生と変化を意味する蛇を表す「巳」が組み合わせられています。この年は、努力を重ね、物事を安定させる縁起の良い年とされています。

皆様にとって、実り多い一年となりますようお願いしております。（ちなみに、「甲子園球場」は「甲子（きのえね）」の年に完成しました。）

【今月の休館日】

令和7年1月20日（月）

天童市学習支援室
「リバテラスちえふる」
TEL (023) 651-6205

